

1 いっぼんのきのえだ



- ① コンスタンス・アンダーソン/作
千葉茂樹/訳
- ② ほるぷ出版
- ③ 1600円
- ④ E

「いっぼんのきのえだ」をアフリカゾウは「はえたたき」、チンパンジーは「スプーン」にしています。ほかの動物たちもそれぞれに「いっぼんのきのえだ」を自分たちの生活に合わせた具としてうまく使っている様子が分かります。自然科学の知識絵本です。

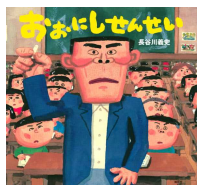
2 いまのわたしにできること



- ① リサ・パップ/作
菊田まりこ/訳
- ② WAVE出版
- ③ 1400円
- ④ E

マディは図書館から子犬をもらってきます。このことをきっかけにたくさんの捨てられた動物たちのことについて知ることになりますが、そんな動物たちのために自分ができることを一生懸命考え、実行します。そして、その思いがみんなに伝わっていきます。

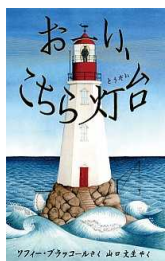
3 おおにしせんせい



- ① 長谷川義史/作
- ② 講談社
- ③ 1500円
- ④ E

新しい担任のおおにしせんせい。国語の時間なのに突然一日中図画工作の時間になりました。筆の使い方や色の表し方など教えてもらって、ぼくはこれまでにない楽しい図画工作の時間を過ごします。せんせいに会えたすばらしさも伝わってくる一冊です。

4 おーい、こちら灯台



- ① ソフィー・ブラッコール/さく
山口文生/やく
- ② 評論社
- ③ 1600円
- ④ E

小さな島の灯台ですが、新しくきた灯台守は日々器具の手入れをしながら船の安全につとめています。ややもすると暗くて孤立しそうな灯台内での暮らしぶりですが、ファンタスティックに表現しつつ灯台の大切さも教えてくれます。これまで知る機会の少なかった灯台や灯台守の仕事に注目です。

5 きみののぞみはなんですか？



- ① 五味太郎/著
- ② アノニマ・スタジオ
- ③ 1600円
- ④ E

動物、植物、乗り物などいろいろなものに「のぞみはなにか」と問いかけています。たずねられたものたちは、どんな答えを返すのでしょうか？哲学的なやりとりが続きます。絵や、言葉の並べ方がユニークでおもしろい作品です。

6 シカの童女



- ① 岡野薫子/さく
赤羽末吉/え
- ② 復刊ドットコム
- ③ 1850円
- ④ E

むかしむかし、北の山と南の山には仙人が住んでいました。ある夜、北の仙人はかわいい女の子を拾います。そばには、シカの姿もあります。これだけの状況で、どんな昔話が始まるのかワクワクしてきます。女の子とシカにどんなことが起こるのでしょうか。

7 字のないはがき



- ① 向田邦子/原作
角田光代/文
西加奈子/絵
- ② 小学館
- ③ 1500円
- ④ E

戦争が始まり、妹が田舎へ疎開することになりました。「元気な日には、はがきに〇を書いてポストに入れる」ように、お父さんがはがきをたくさん持たせます。大きな〇が小さくなり、とうとう×を書いたはがきが届きます。家族の妹への深い思いだけでなく、戦争時の暮らしの様子についても書かれている一冊です。

8 フシギなさかな ヒメタツのひみつ



- ① 尾崎たまき/写真・文
- ② 新日本出版社
- ③ 1500円
- ④ E

ヒメタツって知っていますか。タツノオトシゴの仲間で、海の中に住んでいます。このヒメタツには、不思議な秘密がいっぱい。海の中の多くの敵から赤ちゃんを誕生させるため、ヒメタツのお父さんとお母さんには不思議な秘密があります。美しい写真とともに秘密を知ることのできる一冊です。

9 プールのひは、おなかいたいひ



- ① ヘウオン・ユン/作
ふしみみさを/訳
- ② 光村教育図書
- ③ 1400円

プールのひ、わたしは決まっておなかがいなくなります。でも、メアリー先生とプールに入って、少しずつ練習をしていきます。そして、がんばって続けていくといつのまにか楽しくなってきます。苦手なことでも挑戦することの大切さが分かる一冊です。

10 ぼくはなきました



- ① くすのきしげのり/さく
石井聖岳/え
- ② 東洋館出版社
- ③ 1300円
- ④ E

「じぶんのいいところ」を書く時間です。お母さんや友達のいいところはたくさん見つかります。でも、自分のいいところは見つかりません。先生に伝えると「友達のいいところを見つけられるのが、そうたくんのいいところ」だと教えてくれます。やさしい気持ちになる一冊です。

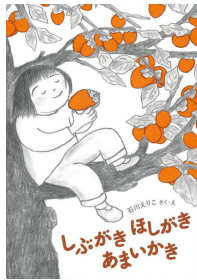
11 みずとはなんじゃ？



- ① かこさとし/作
鈴木まもる/絵
- ② 小峰書店
- ③ 1500円
- ④ E

わたしたちが生きていく上で欠かすことのできない「水」。水蒸気や氷といったいろいろな姿にも変わる「水」。その正体について、分かりやすく説明しています。かこさんが亡くなる直前に手がけた最後の絵本は、「水」への思いがたっぷりつまった作品です。

12 しぶがきほしがきあまいかき



- ① 石川りえこ/さく・え
- ② 福音館書店
- ③ 1100円
- ④ 91イ019

秋になり、大きな柿の木にたくさんの実がつけました。ちえが、一番真っ赤な柿の実をもぎり、食べてみると……。口の中はしびれてしぶ〜い味！ちえたちは、おばあちゃんから干し柿の作り方を教えてもらいます。しぶ〜い柿はあまい柿になるのでしょうか。

13 しんぶんのタバー



- ① 萩原弓佳/作
小池壮太/絵
- ② PHP研究所
- ③ 1200円
- ④ 91ハ019

タバーは、おばあさんが新聞を束ねてできたアイス。ある日、「いいアイスコンテスト」に出場しようとお城を目指すことに。その旅の途中、いろいろなアイスの悩みを解決してあげたことで、タバーの体はぼろぼろに……。そんなタバーをみんなは「アイス大臣」にしようと思いますが、タバーはどうするのでしょうか。

14 しゅくだいかけっこ



- ① 福田岩緒/作・絵
- ② PHP研究所
- ③ 1200円
- ④ 91フ014

走るのが苦手なゆうまは、運動会でリレーの選手に選ばれます。ゆうまは、走りたくなないので、運動会を休みたいと思ってしまう……。そんな時、こわいことで有名な「てんぐじいさん」が、速く走れるように練習してくれることになります。「てんぐじいさん」とゆうまの「かけっこ特訓」の成果は？

15 二年二組のたからばこ



- ① 山本悦子/作
佐藤真紀子/絵
- ② 童心社
- ③ 1000円
- ④ 91ヤ019

たからくんは、忘れ物や落とし物が多い男の子。たからくん専用の落とし物入れ「たからばこ」もあります。ある日、日直箱の中に入っていたかぎがなくなってしまう。日直箱をたからくんと二人で運んだみなは、つい、たからくんのせいにしてしまいます。読み終わった後に、心が温くなる一冊です。